

公共ホールと アウトリーチ活動の未来

入場
無料

(要整理番号、先着順)

「アウトリーチ Outreach」とは「手を伸ばすこと」。
 普段、クラシック音楽を聴く機会のない方々へアーティストが直接外向き生演奏を届ける——
 そんな「アウトリーチ活動」に携わる音楽家が近年増えています。
 京都コンサートホールでも2019年4月から登録アーティスト制アウトリーチ事業がスタートしました。
 公共ホールとして音楽と人とを結びながら、数多くの出会いを創出しています。
 2日間にわたって開催するアウトリーチセミナー「公共ホールとアウトリーチ活動の未来」では、
 全国からアウトリーチ等の専門家を招き、公共ホールが果たすべき役割とアウトリーチ活動の可能性に迫ります。

会場 京都コンサートホール アンサンブルホールムラタ 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-26

第1日

2019年8月29日(木) 10:00開始
(9:30開場/17:45終了予定)

講師・ゲスト

建畠 哲 (京都芸術センター館長)
 吉本 光宏 (株式会社 ニッセイ基礎研究所 研究理事)
 加藤 直明 (トロンボーン奏者)
 児玉 真 (一般財団法人 地域創造 プロデューサー) ほか



第2日

2019年8月30日(金) 10:00開始
(9:30開場/16:30終了予定)

講師・ゲスト

榎本 広樹 (リューとぴあ新潟市民芸術文化会館音楽企画課長)
 梶田 美香 (名古屋芸術大学教授)
 田中 咲絵 (ピアニスト・京都コンサートホール第1期登録アーティスト)
 DUO GRANDE (弦楽デュオ・京都コンサートホール第1期登録アーティスト) ほか



申込方法 応募フォームまたは往復はがきにてお申し込みください。

◆応募フォームの場合

京都コンサートホールのホームページ内にある応募フォーム <https://www.kyotoconcerthall.org/subscription3> にアクセスしていただき、必要事項(氏名・年齢・職業・所属・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス)をご記入の上、送信ボタンを押してください。京都コンサートホールから整理番号を記載したメールを送信いたします。申込後、一週間経ってもメールが届かない場合は、お手数ですが京都コンサートホール事業企画課(075-707-6430)までご連絡ください。

◆往復はがきの場合

往信面に氏名・年齢・職業・所属・郵便番号・住所・電話番号を記載し、ポストに投函してください(お一人につき一通)。
 送付先: 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-26
 京都コンサートホール事業企画課「アウトリーチセミナー」担当



応募期間: 2019年6月10日(月)~8月23日(金) (当日締め)

※整理番号は随時、応募フォームでお申し込みの方にはメールで、往復はがきでお申し込みの方には返信はがきでお知らせします。
 ※応募者多数の場合は先着順とします。ご了承ください。

公共ホールとアウトリーチ活動の未来

プログラム (予定)

第1日 8月29日(木)	
10:00~11:00	講演「社会における芸術の役割～京都を例に」 (建畠哲)
11:10~12:30	講演「アウトリーチから始まる地域の活力創出」 (吉本光宏)
14:00~14:45	アウトリーチ・プログラムの実演 (トロンボーン: 加藤直明、ピアノ: 城綾乃)
15:00~16:30	パネルディスカッション「公共ホールとアウトリーチの可能性」
16:45~17:45	「京都のクラシック音楽とアウトリーチ」 (京都コンサートホール)

第2日 8月30日(金)	
10:00~11:00	講演「地域のアーティストと公共ホール～新潟の取り組みから」 (榎本広樹)
11:15~12:30	講演「アウトリーチのいま～研究的観点からみえる現状と課題」 (梶田美香)
13:30~14:00	「Join us (ジョイナス) ! ~キョウト・ミュージック・アウトリーチ~ について、アウトリーチ・プログラムの実演」 (京都コンサートホール)
15:00~16:30	パネルディスカッション「公共ホールとアウトリーチ活動の未来」

講師・ゲスト紹介

たてはた あきら
建畠 哲 (京都芸術センター館長)

美術評論家、詩人。1947年京都に生まれる。早稲田大学文学部フランス文学科卒。国立国際美術館長、京都市立芸術大学学長などを経て、現在、多摩美術大学学長。埼玉県立近代美術館長、草間彌生美術館長、京都芸術センター館長を兼任。全国美術館会議会長。ベネチア・ビエンナーレ日本コミッショナー、横浜トリエンナーレ、あいちトリエンナーレ、東アジア文化都市-京都などの芸術監督を歴任。オーストラリア国家栄誉賞受賞。文化庁創設五十周年記念表彰。詩人としては歴経新鋭賞、高見順賞、萩原朔太郎賞を受賞。

よしもと みつひろ
吉本 光宏 (株式会社 ニッセイ基礎研究所 研究理事)

1958年徳島県生。東京オペラシティや世田谷パブリックシアター、いわきアリオスなどの文化施設開発、東京国際フォーラムや電通新社屋のアート計画のコンサルタントとして活躍する他、文化政策、文化施設の運営・評価、創造都市、オリンピック文化プログラム、アウトリーチ等の調査研究に取り組む。現在、東京2020組織委員会文化・教育委員、東京芸術文化評議会評議員、(公社)企業メセナ協議会理事、(公財)国際文化会館評議員、文化経済学会(日本)理事等。主な著作に「2020年。全国で文化の祭典を(ニッセイ基礎研レポート)」「文化からの復興-市民と震災といわきアリオスと(編著、水曜社)」など。

かとう ただあき
加藤 直明 (トロンボーン奏者)

埼玉県出身。東京藝術大学音楽学部器楽科(トロンボーン専攻)卒業。トロンボーンを故 白石直之、故 永濱幸雄、神谷敏、イアン・パウスフィールド、箱山芳樹、山本浩一郎の各氏に師事。これまでにオーケストラや吹奏楽のエキストラ活動、スタジオワーク、ミュージカル等でも演奏活動を展開。東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師を経て、現在はソリストとして、またTrio "N" や金管五重奏団Buzz Fiveのメンバーとして全国各地を訪問しコンサートやアウトリーチ活動を展開。(一財)地域創造公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト。オフィシャルHP <https://tadaakii007.wixsite.com/trombonetune>

こだま しん
児玉 真 (一般財団法人 地域創造 プロデューサー)

音楽事務所勤務のあと、2000年までカザルスホールで企画のプロデュースをする。同時に岐阜のメルサホールや三鷹市芸術文化センターの企画プロデューサー。その後NPOトリトン・アーツ・ネットワーク(第一生命ホール)といわき芸術文化交流館アリオスの自主事業全体の統括をする。仲道郁代の普及プログラムや「育児支援コンサート」などの企画にも取り組み、また、(財)地域創造のアウトリーチ事業(おんかつ)では長くチーフコーディネーターとして活動、地域演奏家のアウトリーチ活動のためのコーディネーターや研修も全国各地で行なっている。現在、(一財)地域創造プロデューサー、長崎市芸術アドヴァイザー、桐朋学園芸術短期大学他の非常勤講師。

えのもと ひろき
榎本 広樹 (りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館音楽企画課長)

現在、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館事業企画部主幹・音楽企画課長。1966年新潟県生まれ。1995年魚沼市小出郷文化会館の開設準備室に採用される。1996年開館と同時に、クラシック音楽企画制作・親子向け演劇企画制作・照明技術職員として従事。1998年一般財団法人地域創造「公共ホール音楽活性化事業」を実施し、以後アウトリーチ事業を継続して制作する。2014年(公財)新潟市民芸術文化振興財団に採用され、2019年4月から現職。

かした みか
梶田 美香 (名古屋芸術大学教授)

名古屋生まれ。音楽大学を卒業後、愛知県を中心に演奏活動を展開。通常のコンサートと並行して、子ども向け企画やワークショップなども行う。2002年に玉川大学教育学部に編入し教育学を学んだ後、2005年~10年まで名古屋市立大学大学院で学ぶ。学校音楽教育研究を経て、アウトリーチ研究に没入。現在は、アートプロジェクトや劇場に関する調査研究、アーティストのためのマネジメント講座での講師、エデュケーションプログラムの企画制作などが多い。また文化行政の委員も歴任。名古屋芸術大学教授。名古屋大学、南山大学非常勤講師。博士(人間文化)。

たなか さえ
田中 咲絵 (ピアニスト)

京都市出身。京都市立京都堀川音楽高等学校を経て、京都市立芸術大学卒業後、同大学大学院音楽研究科修士課程修了。第29回京都芸術祭新人賞受賞。第143回京都市立芸術大学定期演奏会(ピアノデュオ)、第27回京都芸術祭「世界に翔く若き音楽家たち」に出演。現在、稲尾光子バレエスクールレッスンピアニストや、関西トロンボーン協会コンクール公式伴奏を務める等、伴奏でも活躍中。三木楽器開成館、旭堂音楽教室ピアノ講師。ムジカA国際音楽協会会員。京都コンサートホール第1期登録アーティスト。

デュオ グランデ
DUO GRANDE
(上敷領藍子(ヴァイオリン)・朴梨恵(ヴィオラ、ヴァイオリン))

上敷領藍子:大阪府出身。東京藝術大学付属音楽高等学校を経て同大学音楽学部首席卒業、同大学大学院修了。2016年オランダ・マーストリヒト音楽院を卒業の後、完全帰国。
朴梨恵:京都市出身。京都市立堀川音楽高校を経て京都市立芸術大学を卒業。2018年ドイツでの研鑽10年を経て完全帰国。

それぞれに数々のコンクールを受賞、国際音楽フェスティバルに参加。現在、ソリスト・室内楽奏者として活躍。幼少期共に同じ師(田淵洋子)のもとで長きにわたり切磋琢磨し、共にヨーロッパで研鑽を積んだ経験を生かし、2018年デュオを結成。ヴァイオリン二台、もしくはヴァイオリンとヴィオラの息のあったデュオを繰り広げる。京都コンサートホール第1期登録アーティスト。



京都コンサートホール
〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1番地の26
地下鉄烏丸線「北山」駅①③出口より南へ徒歩5分

公式HP
Facebook
Twitter
公式ブログ

<https://www.kyotoconcerthall.org>
京都コンサートホール Kyoto Concert Hall
京都コンサートホール @KCH_Kyoto
<https://www.kyotoconcerthall.org/blog>